

# 月刊 ウィーン

Monatsmagazin Japanisch

現地オリジナル取材と編集で  
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊平成元年 創刊31年目 Nr. 364

# GEKKAN-WIEN 2020年2月号





# 杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 97

日本原子力産業協会の「原子力新年の集い」が一月八日、東京プリンスホテル（東京郵港区）で開催され、会員企業等、政府関係、駐日大使館などから約九〇〇名が参集し、新しい年の幕開けを慶び親睦を深めた。



https://www.jaif.or.jp/200108-1

年頭挨拶に立った今井敬会長（写真）は、昨今の異常気象を振り返り、「気候変動の危機感がますます高まっている」とした上で、地球温暖化の要因となる二酸化炭素排出の削減のため、「原子力発電は必要不可欠」と強調。一方で、国内の原子力発電の現状について「九基しか動いていない。今年はいくらも数基が止まる可能性がある」と懸念し、温室効果ガス排出削減の国際公約を果たすべく、「二〇三〇年度時点で三〇基程度の稼働が必要」と、残るプラントの早期再稼働とともに四〇年超プラントの運転期間延長に産業界として意欲を示した。さらに、年内にも次期エネルギー基本計画策定の議論が開始される見通しから、新増設・リプレースの必要性も含め「長期的視点に立ったエネルギー・原子力政策」が図られるよう切望。また、欧米における次世代型原子炉開発の躍進に言及し、「国際的潮流から取り残されぬよう、イノベーション創出における産官学の一層の連携が必要」と呼びかけた。

来賓として訪れた牧原秀樹経済産業副大臣は、福島復興・廃炉汚染水対策の取組や国内のエネルギー供給を巡る課題とともに、中国の国産原子炉建設や米国の八〇年

運転など、海外の原子力動向にも触れ、「現実をしっかりと直視した上で、原子力を含めたエネルギー政策の舵取りを行っていく」と強調。

また、電気事業連合会会長の勝野哲氏は、電力業界の信頼回復や電力インフラのレジリエンス強化に向けた取り組みなど、二〇一九年の振り返りを披露。特に原子燃料サイクルに関しては「長期的視点に立つて一貫性を持って進める必要がある」として、現在原子力規制委員会による審査が大詰めとなっている六ヶ所再処理工の早期しゅん工に向け引き続き支援していく姿勢を示した。「原子力産業のますますの発展を祈り」と、車谷昭副会長（東芝会長）が音頭を取り、一同は祝杯を上げた。

さて、今月のウィーンと京都の対比では、両市の由緒あるホテル・旅館（その三）について述べる。重厚な外観に煌びやかな部屋、ウィーン最高の伝統と格式を誇るクラシックホテル、ホテルインペリアルは一八七三年のウィーン万博時にフランツ・ヨーゼフ皇帝により、ヴァンテンブルグ公爵の宮殿跡に設立された。皇帝御用達の迎賓館として各国の王・皇室メンバーや大統

領を迎え入れてきた。二〇〇二年には平成天皇皇后両陛下もお泊りになられている。室内は豪華なシャンデリアとクラシカルで重厚感のある雰囲気圧倒される。ケルントナーリング通り沿い、ニューイヤークンサートで有名な楽友協会の向かいに立地しており、徒歩で市内を観光できるだけでなく、地下鉄やトラムの乗り場にも近い。格式高いホテルであるが、スタッフは皆ささくで親切である。

一方、京都御三家の最後を飾る炭屋旅館は、大正初期の一九二二年創業。市の中心三条通から麩屋町通を南に入った狭い路地、閑静な家並みが続く一角にある。重厚にして簡素な数寄屋造りの堂々たる外観が印象的。本館は年季の入った床や狭い幅の

廊下など老舗旅館の趣があり、古い木造建築をたっぷり楽しめる。新館は現代に合わせた内装やベッドなどが配され、足腰に自信のない方、現代の快適性を求める方に奨められる。風呂は木の香り高い高野槇（こやまぎ）の湯船を使用。家族風呂もあり、予約制で時間無制限で利用できる。夕食は、四季折々の京野菜などを使用した京懐石をいただける。また、お茶の世界と深い結びつきがあり、毎月七日と一七日の夜には、夕食後に茶室で点てられたお茶をいただくことができる。おもてなし心で長年愛され続けてきたのが共通している。

余談であるが、筆者はホテルインペリアルに泊まったことはないが、中にある高級カフェ、レストラン・インペリアルで食事をしたことがある。何とも豪華な雰囲気だった。炭屋旅館にも泊まったことはないが、その前を何回か通ったことがある。今月も両市の由緒あるホテル・旅館にまつわる話を紹介できた幸運に感謝しつつ、編集部撮影をお願いしたホテルインペリアル写真掲載させていただく。

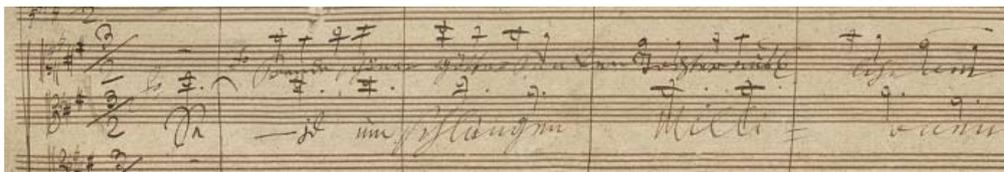


杉本純 元京都大学教授  
元原子力機構ウィーン事務所長

杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています：<http://wattandedison.com/Sugimoto.html>

## Ludwig van Beethoven ベートーヴェン 2020 国立図書館 プルンクザール

ユネスコ世界記憶遺産登録『第九』オリジナル手稿（歌詞 Freude, schöner Götterfunken... 入り）3月9日まで



© bpk/Staatsbibliothek zu Berlin/Carola Seifert, Staatsbibliothek zu Berlin - Preussischer Kulturbesitz, Musikabteilung mit Mendelssohn-Archiv

© Österreichische Nationalbibliothek

河野純一 著

河野純一 著

河野純一 著

河野純一 著